

酒田市子ども・子育て支援事業計画
ニーズ調査ご協力のお願い
【小学生保護者用】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、本市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図り、計画的に給付事業を実施するため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を策定することになりました。

このため、本市の子どもたちの状況や子育て家庭の実態・ご要望を把握するとともに、今後必要になる教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するために、この調査を実施し、事業計画に反映したいと考えております。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、皆様の率直なご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

なお、お答えいただいた内容は、市や県の施策の検討のみに利用させていただくもので、回答者が特定されたり、回答内容を他の目的に利用したりすることは一切ありません。

また、施設や事業の利用希望に関する回答内容によって、施設や事業の実際の利用の可否を確認・決定することはありません。

平成25年9月

《調査票について》

1 この調査票は小学校に通学するお子さんのいるご家庭に、学校を通じて1通配付しています。特にことわりのある場合以外は、小学校に通学するお子さんのうち年齢の低いお子さんについてお答えください。

幼稚園・保育園等に通園するお子さんがいるご家庭には、園を経由して就学前児童用の調査票が届きますが、園を経由した調査票については通園するお子さんのうち年齢の低いお子さんについてご記入し、園にご提出ください。

また、郵送で就学前児童用の調査票が届いたご家庭については、郵送された調査票に宛名のお子さんについてご記入し、ご返送ください。※園経由と郵送とで重複して就学前児童用の調査票が届いた場合には、郵送された調査票のみご提出ください。

- 2 お子さんの保護者の方がお答えください。
- 3 特に指定のない場合、**平成25年8月末日現在**でお答えください。
- 4 回答がおわりましたら、配付時の封筒の回答済の確認欄にチェックを入れて9月30日(月)までに配布された施設にご提出ください。
- 5 調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

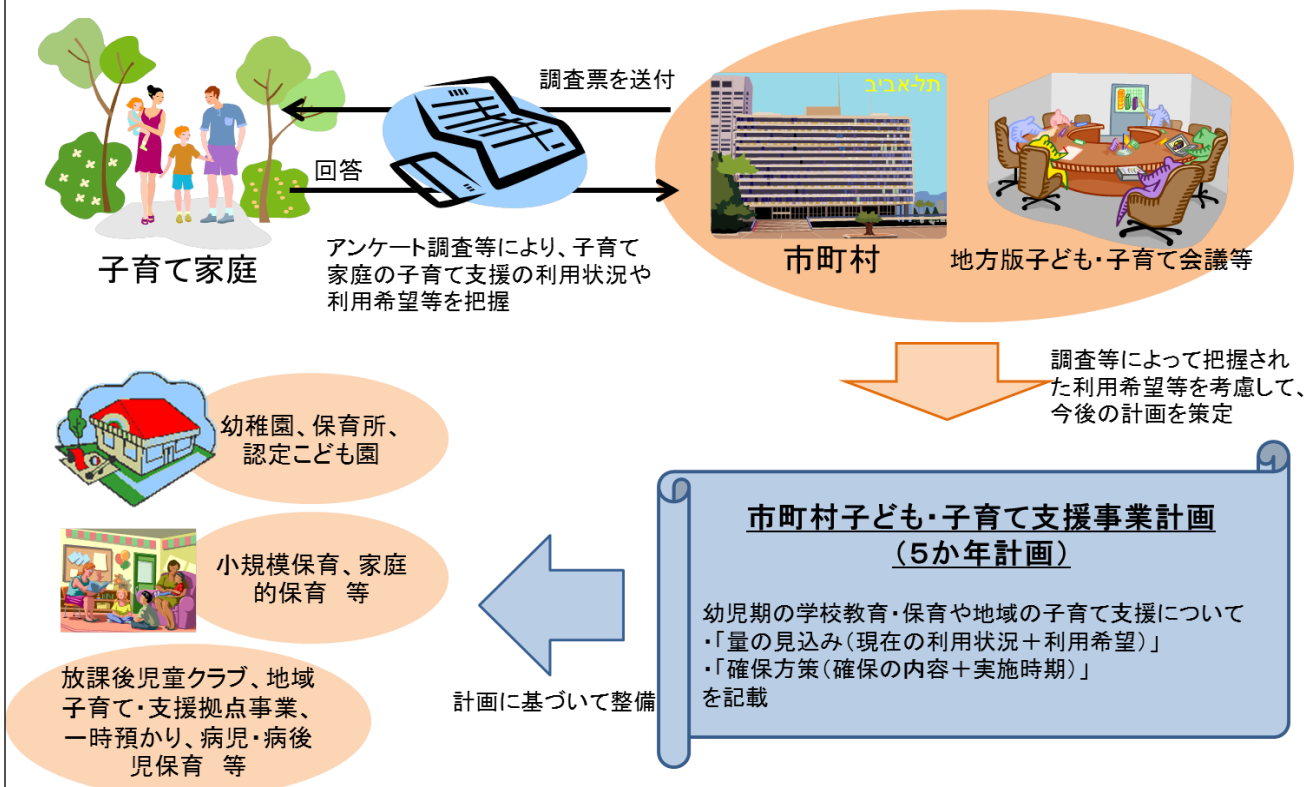
酒田市子育て支援課 とも育成係 【TEL 26-5896】

回答するに当たってお読みください

酒田市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）。
酒田市内には、アテネ幼稚園、天真幼稚園、酒田幼稚園、酒田第二幼稚園、酒田双葉幼稚園、浄徳幼稚園、若草幼稚園があります。
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）。酒田市内には、以下の施設があります。
 - <認可保育園>
若竹保育園、浜田保育園、松陵保育園、本楯保育園、八幡保育園、市条保育園、松山保育園、平田保育園、仁助新田保育園、榎橋保育園、酒田報恩会保育園、若浜保育園、若宮保育園、小鳩保育園、亀ヶ崎保育園、宮野浦保育園、泉保育園、北新橋保育園、西荒瀬保育園、新堀保育園、広野保育園、浜中保育園、黒森保育園、十坂保育園、東平田保育園、中平田保育園、北平田保育園、上田保育園、鳥海保育園
 - <認可外保育園>
月見ヶ丘保育園、子供の園、あづまこども園
また、その他の保育所として、事業所内の従業員を対象とした事業所内保育所、病院内保育所などがあります。
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）。
酒田市内には、アテネ乳幼児センター、木の実保育園、酒田双葉託児園、若草幼稚園ベビールームがあります。
- ・ 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教育：設問の中で特にことわりが無い場合、問17までは家庭での教育を含めた広い意味、問18以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

《記入上の注意》

- 1 回答は、回答欄の枠内に数字や記号を記入してください。
- 2 回答が「その他」の場合は、設問欄の()内に具体的な内容を記述し、回答欄には「その他」が属する番号や記号を記入してください。
- 3 自由記載型の回答は、設問欄の枠内に記入し、回答欄の枠にチェック「レ」を記入してください。

《回答例》

問7 問2のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 幼稚園	6. 保育所
7. 認定こども園					
8. その他 (<u>母親の姉</u>)					

問7

回答が「1.父母ともに」、「6.保育所(保育園)」、「8.その他(母親の姉)」の場合 ⇒

回答欄
問7

1,6,8

回答欄

問1

問2
 ア 年
 イ 月生
 ウ

問3
 ア 人
 イ 年
 ウ 月生

問4

問5

問6

問6-1
 ア
 イ
 ウ
 エ
 オ
 カ
 キ
 ク

1. お住まいの地域についてお伺いします。

問1 お住まいの小学校区として、あてまる答えの番号を1つだけ選んでください。 問1

1. 琢成学区	2. 浜田学区	3. 若浜学区	4. 富士見学区	5. 亀城学区
6. 松原学区	7. 港南学区	8. 松陵学区	9. 泉学区	10. 飛鳥学区
11. 西荒瀬学区	12. 新堀学区	13. 広野学区	14. 浜中学区	15. 黒森学区
16. 十坂学区	17. 宮野浦学区	18. 平田学区	19. 鳥海学区	20. 南遊佐学区
21. 一條学区	22. 八幡学区	23. 地見興屋学区	24. 松山学区	25. 内郷学区
26. 田沢学区	27. 南平田学区			

2. お子さんご家族の状況についてお伺いします。

問2 お子さんの生年月と性別を数字でご記入ください。（就学児童のうち年齢の低いお子さん）

平成 ア 年 イ 月 生まれ。 性別 ウ { 1. 男
2. 女

問3 問2のお子さんを含め、お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成25年4月1日現在の年齢）を数字でご記入下さい。

きょうだい数 ア 人 末子の生年月 平成 イ 年 ウ 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか？お子さんからみた関係で番号をご記入ください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ） 問4

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、あてはまる番号をご記入ください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない 問5

問6 問2のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方として、あてはまる番号を1つだけご記入ください。続柄はお子さんからみた関係です。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ） 問6

問6-1 具体的な子育てや家事の分担についてお伺いします。ア～クについて、主に行っている方はどなたですか。問2のお子さんからみた関係で、ア～クごとにあてはまる番号を1つご記入ください。（母子家庭、父子家庭の場合は記載不要です）

ア. 食事を作る	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	ア
イ. 洗濯をする	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	イ
ウ. 掃除をする	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	ウ
エ. 買い物をする	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	エ
オ. 子どもをお風呂に入れる	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	オ
カ. 子どもを寝せる	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	カ
キ. 保育園等の送迎をする	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	キ
ク. 子どもと遊ぶ	1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他（ ）	ク

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします。

回答欄

問7 問2のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、あてはまる番号をすべて選んでください。

問7

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母 5. 小学校
6. 放課後児童クラブ（学童保育）
7. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
8. その他（ ）

問7

問8 問2のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をすべて選んでください。

問8

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. 放課後児童クラブ（学童保育）
5. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
6. その他（ ）

問8

問9 問2のお子さんとの同居・近居（概ね車で15分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号をすべてお答えください。

問9

（例）子の父母と、父方の祖父母が同居し、母方の祖父母が近居の場合は
⇒ 1、4、5、6、7 となります。

1. 父母同居 2. 父同居（ひとり親家庭） 3. 母同居（ひとり親家庭） 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他（ ）

問9

問10 日頃、お子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまる番号をすべてお答えください。

問10

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問10

問10-1 問10で、「1.」または「2.」と答えた方にお伺いします。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまる番号をすべてお答えください。

問10-1

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10-1

問10-2 問10で、「3.」または「4.」と答えた方にお伺いします。友人や知人にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまる番号をすべてお答えください。

問10-2

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10-2

回答欄

問11

問11 子育てについて気軽に相談できる人がいますか。あてはまる番号をお答えください。

1. いる	2. いない	問11
-------	--------	-----

問11-1

問11-1 問11で「1. いる」と答えた方にお伺いします。気軽に相談できる人について、あてはまる番号をすべてお答えください。

1. 配偶者	2. 配偶者以外の親族	3. 職場の人
4. 小学校の親仲間	5. 子育ての仲間	6. 友人や知人
7. 近所の人	8. 小学校教諭	9. 学童保育所指導員
10. 民生委員・児童委員	11. かかりつけの医師	12. 相談機能を持つ公的機関
13. その他()		

問11-1

問12

問12 子育てについて気軽に相談できる場所がありますか。あてはまる番号をお答えください。

1. ある	2. ない	問12
-------	-------	-----

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお伺いします。気軽に相談できる場所について、あてはまる番号をすべてお答えください。

問12-1

1. 母子相談室(健康センター)	2. 保育所	3. 幼稚園
4. 子育て支援センター (酒田、八幡、松山、平田、西荒瀬)	5. 酒田市児童センター (交流ひろば内)	6. 医療機関
7. つどいの広場(にこっと)	8. 教育相談室	9. 学童保育所
10. 家庭児童相談室(子育て支援課)	11. 学校	
12. その他()		

問12-1

問12-2 子育てに関する情報を、どこから入手されていますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

問12-2

1. 親族(配偶者、親、兄弟など)	2. 隣近所の人、地域の知人、友人
3. 子育ての仲間	4. 保育所、幼稚園、学校
5. 市役所や総合支所など市施設	6. 市の広報やパンフレット、ホームページ
7. テレビ、ラジオ、新聞	8. 子育て雑誌・育児書
9. インターネット(携帯電話等を含む)	10. 酒田市児童センター(交流ひろば内)
11. 子育て支援センター (酒田、西荒瀬、八幡、松山、平田)	12. つどいの広場(にこっと広場)
13. その他()	14. 情報の入手先がない
15. 情報の入手方法がわからない	

問12-2

問13

問13 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

自由記載欄にご記入された方は口内に

4. お子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

回答欄

問14 問2のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記載は不要です】 あてはまる番号を1つ選んでください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	ア
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労はしていない	
6. これまで就労したことがない	

(1) -1 (1)で「1~4」（就労している）と答えた方にお伺いします。週当たりの「就労日数」、一日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	イ	日	・	1日当たり	ウ	時間
-------	---	---	---	-------	---	----

(1) -2 (1)で「1~4」（就労している）と答えた方にお伺いします。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（例）7:30、18:00のように、24時間制（30分単位）でお答えください。

家を出る時刻	エ	:	オ	・	帰宅時刻	カ	:	キ
--------	---	---	---	---	------	---	---	---

(2) 父親 【母子家庭の場合は記載は不要です】 あてはまる番号を1つ選んでください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	ク
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労はしていない	
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (2)で「1~4」（就労している）と答えた方にお伺いします。週当たりの「就労日数」、一日当たりの「就労時間（残業時間含む）」を数字でお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	ケ	日	・	1日当たり	コ	時間
-------	---	---	---	-------	---	----

(2) -2 (2)で「1~4」（就労している）と答えた方にお伺いします。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（例）7:30、18:00のように、24時間制（30分単位）でお答えください。

家を出る時間	サ	:	シ	・	帰宅時間	ス	:	セ
--------	---	---	---	---	------	---	---	---

問14

(1) 母親

ア

(1) -1

イ 日

ウ 時間

(1) -2

家を出る時刻
エ オ
 :

帰宅時刻
カ キ
 :

(2) 父親

ク

(2) -1

ケ 日

コ 時間

(2) -2

家を出る時刻
サ シ
 :

帰宅時刻
ス セ
 :

回答欄

問15

(1) 母親

(2) 父親

問16

(1) 母親

ア

(1) -1

イ

ウ 日

エ 時間

(1) -2

オ

(2) 父親

カ

(2) -1

キ

ク 日

ケ 時間

(2) -2

コ

問15

問14の(1)または(2)で「3,4」(パート・アルバイト等で就労している)と答えた方に伺います。該当しない方は問16へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号を1つお答えください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問16

問14の(1)または(2)で「5以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」と答えた方にお伺いします。該当しない方は問17へお進みください。就労したいという希望はありますか。あてはまる番号を1つお答えください。

(1)

母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番小さい子どもがもう少し大きくなったら就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

(1) -1

→ (1)で「3」と答えた方にお伺いします。就労希望の形態を選んでください。パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。

希望する就労形態 { 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)

⇒ 1週当たり 日 ・ 1日当たり 時間

(1) -2

→ (1)で「2」と答えた方にお伺いします。一番小さいお子さんが何歳くらいになったら就労したいですか。数字でお答えください。

歳になったころに就労したい

(2)

父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番小さい子どもがもう少し大きくなったら就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

(2) -1

→ (2)で「3」と答えた方にお伺いします。就労希望の形態を選んでください。パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間もご記入ください。

希望する就労形態 { 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)

⇒ 1週当たり 日 ・ 1日当たり 時間

(2) -2

→ (2)で「2」と答えた方にお伺いします。一番小さいお子さんが何歳くらいになったら就労したいですか。数字でお答えください。

歳になったころに就労したい

問17 すべての方に、お子さんの母親の出産前後の就労状況についてお伺いします。
お子さんの母親は出産前後（それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる番号を選んでください。

回答欄
問17

1. 離職した
2. 継続的に働いていた（転職も含む）
3. 出産1年前にすでに働いていなかった

ア

※「2.」には、出産から1年以上経過した後に離職された方を含みます。

問17-1 問17で「1. 離職した」と答えた方にお伺いします。
仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号を2つまでご記入ください。

問17-1

1. 教育・保育事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
5. いずれにしてもやめていた（子育てに専念したためも含む）
6. その他（)

イ

回答欄

5. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします。

問18

1. 児童センター
ア イ

2. 子育て支援センター
ウ エ

3. つどいの広場
オ カ

問18 お子さんは、現在、以下の地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてについて、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 児童センター（交流ひろば内）
1週当たり ア 回 もしくは 1ヶ月当たり イ 回

2. 子育て支援センター（酒田、西荒瀬、八幡、松山、平田）
1週当たり ウ 回 もしくは 1ヶ月当たり エ 回

3. つどいの広場（にこっと広場）
1週当たり オ 回 もしくは 1ヶ月当たり カ 回

※ 利用していない場合は空欄

問19

1. 今後利用したい
ア イ

2. 回数を増やしたい
ウ エ

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号1つを選んでください。今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいを選んだ方は、おおよその利用頻度を数字でお答えください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり ア 回 もしくは 1ヶ月当たり イ 回

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に ウ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に エ 回

※ 新たに利用したい、あるいは利用日数を増やしたいとは思わない方は空欄

問20

	A	B	C
①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思う者をお答えください。次の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1 はい」「2 いいえ」のいずれかを選んでください。

サービス内容	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
① マタニティ教室 (市民健康センター内で実施)	1. はい <input type="checkbox"/> ①A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ①B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ①C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
② 母子相談室 (市民健康センター内で実施)	1. はい <input type="checkbox"/> ②A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ②B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ②C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
③ 家庭教育に関する講座 (総合文化センターで実施)	1. はい <input type="checkbox"/> ③A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ③B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ③C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
④ 教育相談室 (総合文化センター内で実施)	1. はい <input type="checkbox"/> ④A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ④B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ④C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑤ 青少年指導センター	1. はい <input type="checkbox"/> ⑤A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑤B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑤C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑥ 家庭児童相談室 (子育て支援課内)	1. はい <input type="checkbox"/> ⑥A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑥B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑥C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑦ 升田児童館	1. はい <input type="checkbox"/> ⑦A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑦B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑦C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑧ 母子自立支援等の相談窓口 (子育て支援課内)	1. はい <input type="checkbox"/> ⑧A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑧B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑧C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑨ 地域子育て応援団事業	1. はい <input type="checkbox"/> ⑨A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑨B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑨C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑩ 保育園や幼稚園等の開放事業	1. はい <input type="checkbox"/> ⑩A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑩B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑩C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑪ CAP講座 (子どもへの暴力防止に関する講座)	1. はい <input type="checkbox"/> ⑪A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑪B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑪C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑫ 子育てハンドブック	1. はい <input type="checkbox"/> ⑫A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑫B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑫C 2. いいえ <input type="checkbox"/>
⑬ 市のホームページ	1. はい <input type="checkbox"/> ⑬A 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑬B 2. いいえ <input type="checkbox"/>	1. はい <input type="checkbox"/> ⑬C 2. いいえ <input type="checkbox"/>

6. お子さんの病気の際の対応についてお伺いします。

問21 この1年間で、お子さんが病気やケガで通学できなかった際に行った対処方法としてあてはまるものすべてについて、それぞれの日数をご記入ください（半日程度の場合も1日と数えてください。）

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	<input type="text" value="ア"/> 日
イ. 母親が休んだ	<input type="text" value="イ"/> 日
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	<input type="text" value="ウ"/> 日
エ. （同居者を含む）親族・知人に子どもを見てもらった	<input type="text" value="エ"/> 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text" value="オ"/> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text" value="カ"/> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text" value="キ"/> 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text" value="ク"/> 日
ケ. その他（ ）	<input type="text" value="ケ"/> 日

回答欄

問21

ア	<input type="text"/>
イ	<input type="text"/>
ウ	<input type="text"/>
エ	<input type="text"/>
オ	<input type="text"/>
カ	<input type="text"/>
キ	<input type="text"/>
ク	<input type="text"/>
ケ	<input type="text"/>

問21-1 問21で、「ア」「イ」のいずれかに回答した方にお伺いします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したいと思われた方は、何日くらい利用したいと思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った日数 日

※利用したいとは思わない方は、問25-4へお進みください。

問21-1

問21-2 問21-1で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われた方にお伺いします。利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
 3. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
 4. その他（ ）

問21-2

問21-3 問21-1で、「利用したいとは思わない」と思われた方にお伺いします。そう思われる理由について、あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間 4. 利用料がかかる・高い
 日数など）がよくない
 5. 利用料がわからない 6. 親が仕事を休んで対応する
 7. その他（ ）

問21-3

問21-4 問21で、「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。「エ」から「ケ」の日数のうち、仕事を休んで子どもを看たかった日数をお答えください。

できれば仕事を休んで看たいと思った日数 日

※休んで子どもを看ることは非常に難しかったという方は、問25-6へお進みください。

問21-4

回答欄

問21-5

問21-5 問21-4で、「休んで子どもを見ることは非常に難しかった」方にお伺いします。そう思われる理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他 () |

問21-5

7. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお伺いします。

問22

問22 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまるものすべてについて、1年間の利用日数（おおよそ）を口内に数字でご記入ください。

利用している事業と日数

ア

イ

ウ

エ

オ

利用している事業	日数（年間）
ア. 一時預かり (私用など理由を問わず保育施設などで一時的に子どもを保育する事業)	ア 日
イ. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	イ 日
ウ. 短期入所生活援助事業：ショートステイ (児童養護施設等で一定期間（原則7日以内）、子どもを保護する事業)	ウ 日
エ. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもを保護する事業)	エ 日
オ. その他 ()	オ 日
カ. 利用していない ⇒ <u>以下から利用していない理由としてあてはまる番号をすべてご記入ください。</u>	
1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない 7. 自分が事業の対象になるのかわからない 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない 9. その他 ()	カ

利用していない方

理由 ↓ カ

問23

問2のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について目的別の日数と合計日数でお答えください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	ア～エ 合計	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的等	うち	ア	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	うち	イ	日
ウ. 不定期の就労	うち	ウ	日
エ. その他（ ）	うち	エ	日
2. 利用する必要はない	問24へ		

回答欄

問23

1.利用したい

ア～エ 合計	<input type="text"/>	日
ア	<input type="text"/>	日
イ	<input type="text"/>	日
ウ	<input type="text"/>	日
エ	<input type="text"/>	日

問23-1

問23で「1. 利用したい」を選んだ方にお伺いします。問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか？あてはまる番号をすべてお答えください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） 2. 小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等） 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等） 4. その他（ ）	問23-1
---	-------

2. ⇒ 問24へ

問23-1

問24

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、問2のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまるものをすべて選び、それぞれの日数を数字でお答えください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	ア 日
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	イ 日
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	ウ 日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	エ 日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	オ 日
	カ. その他（ ）	カ 日
2. なかった	問25へ	

問24

1.あった

ア	<input type="text"/>	日
イ	<input type="text"/>	日
ウ	<input type="text"/>	日
エ	<input type="text"/>	日
オ	<input type="text"/>	日
カ	<input type="text"/>	日

2. ⇒ 問29へ

問24-1

問24で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまるもの1つを選んでください。

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない	問24-1
--	-------

問24-1

8. 問2のお子さんの、小学校就学後放課後の過ごし方についてお伺いします。

問25
小学校低学年

ア

イ

ウ

エ

オ

カ-1

カ-2 : カ-3

キ

ク

問25 問2のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてについて、週当たり何日くらい過ごさせたいかを数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、必ず（例）18:30のように24時間制（30分単位）でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…学童保育。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の子どもの過ごさせ方の希望（小学校低学年：1～3年生）	希望する日数
ア. 自宅	週 <input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> 日くらい
イ. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> 日くらい
ウ. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> ウ <input type="checkbox"/> 日くらい
エ. 児童館（酒田市交流ひろば、升田児童館）	週 <input type="checkbox"/> エ <input type="checkbox"/> 日くらい
オ. 放課後こども教室 ※	週 <input type="checkbox"/> オ <input type="checkbox"/> 日くらい
カ. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="checkbox"/> カ-1 <input type="checkbox"/> 日くらい
	⇒下校時から <input type="checkbox"/> カ-2 <input type="checkbox"/> : <input type="checkbox"/> カ-3 <input type="checkbox"/> まで
キ. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> キ <input type="checkbox"/> 日くらい
ク. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> ク <input type="checkbox"/> 日くらい

※「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（実施していない地域もあります。）

問26
小学校高学年

ア

イ

ウ

エ

オ

カ-1

カ-2 : カ-3

キ

ク

問26 問2のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてについて、週当たり何日くらい過ごさせたいかを数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。時間は、必ず（例）18:30のように24時間制（30分単位）でご記入ください。

放課後の子どもの過ごさせ方の希望（小学校高学年：4～6年生）	希望する日数
ア. 自宅	週 <input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> 日くらい
イ. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> 日くらい
ウ. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> ウ <input type="checkbox"/> 日くらい
エ. 児童館（酒田市交流ひろば、升田児童館）	週 <input type="checkbox"/> エ <input type="checkbox"/> 日くらい
オ. 放課後こども教室	週 <input type="checkbox"/> オ <input type="checkbox"/> 日くらい
カ. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 <input type="checkbox"/> カ-1 <input type="checkbox"/> 日くらい
	⇒下校時から <input type="checkbox"/> カ-2 <input type="checkbox"/> : <input type="checkbox"/> カ-3 <input type="checkbox"/> まで
キ. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> キ <input type="checkbox"/> 日くらい
ク. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> ク <input type="checkbox"/> 日くらい

問27

問25または問26で「カ、放課後児童クラブ（学童保育）」を希望された方にお伺いします。問2のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。(1)、(2) それぞれについて、あてはまるものを選んでください。また、利用したい時間帯と頻度を数字でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

ア

→ 「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。利用したい時間帯を（例）7:30～18:00のように24時間制（30分単位）でお答えください。

利用したい時間帯 （ イ : ウ ～ エ : オ ）

→ 「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。利用したい頻度について、あてはまる番号を選んでください。

1. ほぼ毎週利用したい
 2. 月に1～2回は利用したい

カ

(2) 日曜日・祝日
 （注：現在、日曜日・祝日は利用できません。あくまで利用できる場合を仮定して、お答えください。）

1. 利用する必要はない
 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

キ

→ 「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。利用したい時間帯を（例）7:30～18:00のように24時間制（30分単位）でお答えください。

利用したい時間帯 （ ク : ケ ～ コ : サ ）

→ 「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。利用したい頻度について、あてはまる番号を選んでください。

1. ほぼ毎週利用したい
 2. 月に1～2回は利用したい

シ

回答欄

問27

(1) 土曜日

ア

利用したい時間帯

イ :

ウ

エ :

オ

～ :

利用したい頻度

カ

(2) 日曜日

キ

利用したい時間帯

ク :

ケ

コ :

サ

～ :

利用したい頻度

シ

問28

問2のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。事業の利用には一定の利用料がかかります。あてはまるものを選んでください。また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

長期休暇中（夏休み・冬休みなど）
 （注：現在、定期的に利用されていない方の長期休暇中のみ利用はできません。）

1. 利用する必要はない
 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

ア

→ 2または3を選んだ方にお伺いします。利用したい時間帯を（例）7:30～18:00のように24時間制（30分単位）でお答えください。

利用したい時間帯 （ イ : ウ ～ エ : オ ）

→ 「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。利用したい頻度を数字でお答えください。

1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 2. 休みの期間中、週に数日利用したい

カ

問28

ア

利用したい時間帯

イ :

ウ

エ :

オ

～ :

利用したい頻度

カ

9. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてお伺いします。

問29

問29 問2のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまる番号を選んでください。
また、取得していない方は、その理由としてあてはまる番号をご記入ください。

(1) 母親

ア

↓

3.取得していない方

↓

イ

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である） <input type="text" value="ア"/>	2. 取得した（取得中である） <input type="text" value="ウ"/>
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒ <input type="text" value="イ"/> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください。いくつでも。）	⇒ <input type="text" value="エ"/> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください。いくつでも。）

(2) 父親

ウ

↓

3.取得していない方

↓

エ

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問29-1

問29-1

子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまで育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

オ

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	<input type="text" value="オ"/>
2. 育児休業給付のみ知っていた	
3. 保険料免除のみ知っていた	
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	

問29-2

問29-2

問29で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

(1) 母親

(2) 父親

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である <input type="text" value="(1)"/>	2. 現在も育児休業中である <input type="text" value="(2)"/>
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問29-3～問29-5は、問29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

問29-3

問29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか一つを選んでください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選んでください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった <input type="checkbox"/> (1)	2. それ以外だった <input type="checkbox"/> (2)

問29-4

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月まで取りたかったですか。具体的な数字でお答えください。

(1) 母親	(2) 父親
実際に育児休業を取得した期間 <input type="text"/> ア 歳 <input type="text"/> イ ケ月 まで	実際に育児休業を取得した期間 <input type="text"/> オ 歳 <input type="text"/> カ ケ月 まで
希望として育児休業を取りたかった期間 <input type="text"/> ウ 歳 <input type="text"/> エ ケ月 まで	希望として育児休業を取りたかった期間 <input type="text"/> キ 歳 <input type="text"/> ク ケ月 まで

問29-5

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。具体的な数字でお答えください。

(1) 母親	(2) 父親
3歳まで育児休業が取得できる場合の希望 <input type="text"/> ア 歳 <input type="text"/> イ ケ月 まで	3歳まで育児休業が取得できる場合の希望 <input type="text"/> ウ 歳 <input type="text"/> エ ケ月 まで

問29-6

問29-4で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。
 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

① 「希望」より早く職場復帰した方 ※あてはまるものすべてを選んでください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入るため	<input type="checkbox"/> ①- (1) 母親
2. 配偶者や家族の希望があったため	
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	
5. その他 ()	

(2) 父親

1. 希望する保育所に入るため	<input type="checkbox"/> ①- (2) 父親
2. 配偶者や家族の希望があったため	
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	
5. その他 ()	

回答欄

問29-3

(1) 母親

(2) 父親

問29-4

(1) 母親

実際

ア

イ

歳

ケ月

希望

ウ

エ

歳

ケ月

(2) 父親

実際

オ

カ

歳

ケ月

希望

キ

ク

歳

ケ月

問29-5

(1) 母親

ア

イ

歳

ケ月

(2) 父親

ウ

エ

歳

ケ月

問29-6

①希望より早く復帰

(1)母親

(2) 父親

回答欄

問29-6
②希望より遅く復帰

(1) 母親

(2) 父親

問29-7

(1) 母親

(2) 父親

問29-8

(1) 母親

(2) 父親

問29-9

(1) 母親

(2) 父親

問29-6

問29-4で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。
② 「希望」より遅く職場復帰した方 ※あてはまるものすべてを選んでください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()	<input type="text" value="②- (1) 母親"/>
--	--

(2) 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()	<input type="text" value="②- (2) 父親"/>
--	--

問29-7

問29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） <input type="text" value="(1)"/>	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） <input type="text" value="(2)"/>

問29-8

問29-7の(1) 母親 (2) 父親のいずれかについて、「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にお伺いします。
短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

(1) 母親	(2) 父親
<input type="text" value="(1)"/>	<input type="text" value="(2)"/>
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額される 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた 7. 子育てや家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他 ()	

問29-9

問29-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。
問2のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="text" value="(1)"/> 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい <input type="text" value="(2)"/> 2. 1歳になる前に復帰したい

10. すべての方に、「妊娠から出産までの支援」についてお伺いします。

回答欄

本市では「妊娠から出産までの支援」策として下記のような事業を実施しています。参考にして以下の質問にお答えください。

①母子健康手帳を活用した指導・相談やマタニティ教室の実施
②妊婦健康診査の実施と助成(標準回数14回分の無料助成)
③妊娠、出産時等に危険が生じる可能性が高い妊婦への家庭訪問や乳児家庭全戸訪問
④母子相談室事業
⑤乳幼児健康診査や予防接種、子どもの発達・発育支援
⑥休日診療所への小児科医の配置
⑦離乳食、給食などを通じた食育に関する事業

問30

問30 上記の事業などにより、妊娠から出産までの本市の子育て支援に満足していますか。

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している	問30
3. どちらともいえない・わからない	4. どちらかといえば満足していない	
5. 満足していない		

問30-1 問30のように思われる理由として、あてはまるものを3つまでお答えください。

1. 産科医の数が十分あるから／不足しているから	2. 産科医の設備が充実しているから／不足しているから	問30-1
3. 相談・マタニティ教室の回数や開催日が満足だから／不満だから	4. 相談時の保健師の態度が良かったから／不満だったから	
5. 金銭面での支援が充実しているから／不足しているから	6. 不妊治療への支援が充実しているから／不足しているから	
7. 制度の周知が十分行き届いているから／不足しているから	8. 相談しやすいから／しにくいから	
9. 他市町村と比較して		
10. その他()		

問30-1

11. すべての方に、子育てに関する不安感・負担感についてお伺いします。

本市では子育ての負担軽減のために下記のような「子育て支援」事業を実施しています。参考に以下の質問にお答えください。

①子育て支援医療費助成(0歳～小学3年生までの通院・入院費及び小学4年～6年生と中学生の入院費無料)
②児童手当の給付
③兄弟姉妹入園家庭への保育料軽減(同時に入園している場合、第2子2/3助成、第3子無料)
④私立幼稚園就園奨励費補助金(幼稚園就園者へ保育料の減免、所得制限あり)及びにこにこ子育て支援事業補助金の支給(第2子1/2助成、第3子無料、所得制限あり)
⑤産休明けからの保育対応(年度途中の入所含む)
⑥延長保育事業(11時間を超える保育。16園で実施)
⑦病児・病後児保育(あさほ病児・病後児保育所、平田保育園)と体調不良児対応事業(3園に看護師配置)
⑧発達支援室、保健士、保育園、幼稚園などの連携による、子どもの発達に関する相談をはじめ、発達支援が必要な子の早期発見と早期支援の開始に向けた取り組みの実施
⑨障がい児の保育園での受け入れ(全園)
⑩一時預かり事業(保育園14園、つどいの広場1か所)
⑪酒田市児童センター(交流ひろば内)、子育て支援センター(酒田、八幡、松山、平田、西荒瀬)における育児相談(随時)や親子で楽しめるイベント等の実施
⑫ファミリー・サポート・センター事業(会員同士の相互援助活動による子どもの預かり)の実施
⑬つどいの広場事業(にこっと広場)：親子が気軽に立ち寄り遊んだり、情報交換や相談ができる場を提供する事業
⑭地域子育て応援団事業：コミュニティ振興会等が、親子を対象とした遊びのイベント等を通して地域と子育て世帯との応援態勢づくりを図る事業(6学区で実施)
⑮家庭児童相談室事業
⑯放課後児童健全育成事業(学童保育所21か所)

問31

問31 上記のように様々な子育て支援事業を実施していますが、子育てに関して不安なことや負担に感じることがありますか。

1. ある	2. あまりない	3. ない	問31
-------	----------	-------	-----

問31-1 問31で「1.ある」「2.あまりない」と答えた方にお伺いします。
 どのようなことが不安や負担に感じますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

問31-1

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい | 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない | 4. 夫婦で余暇などを楽しむ時間がない |
| 5. 仕事が十分にできない | 6. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれない |
| 7. 目が離せないのが気が休まらない | 8. 子どもが病気がちである |
| 9. 祖父母世代との意見の相違 | 10. その他 () |

問31-1

問32

問32 希望どおりに保育サービスを利用できていますか（できましたか）。あてはまる番号を選んでください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. できている（できた） | 2. できていない（できなかった） |
|---------------|-------------------|

問32

問32-1

問32-1 問32で「2.できていない（できなかった）」と答えた方にお伺いします。
 その保育サービスは何ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

- | | | |
|-------------------|----------|-------------|
| 1. 延長保育 | 2. 一時預かり | 3. 病児・病後児保育 |
| 4. 障がい児保育 | 5. 休日保育 | 6. 夜間保育 |
| 7. 放課後児童クラブ（学童保育） | | |
| 8. その他 () | | |

問32-1

12. すべての方に、「学校、地域の教育環境づくり」についてお伺いします。

本市では「学校、地域の教育環境づくり」として下記のような事業を実施しています。
 参考にして以下の質問にお答えください。

- | |
|---|
| ①チーム・ティーチング（複数の教員が役割分担して指導計画を立て、指導する方式）や
少人数指導など、個々の児童生徒に応じた就学指導 |
| ②地域と学校との連携・協力による生活体験、自然体験、職場体験活動 |
| ③教育相談室やスクールカウンセラーなど、教育相談体制の強化 |
| ④幼児、児童生徒の体力向上事業 |
| ⑤学校施設の計画的な改築や耐震化 |
| ⑥幼稚園、保育園、小学校の連携（職員合同研修等による園児の小学校への円滑なつなぎ） |
| ⑦地域社会全体で子どもを育てる活動支援（地域子育て応援団、コミュニティ振興会の交流
事業、保育園等の園開放事業など） |
| ⑧子どもを取り巻く有害環境の除去活動（自動販売機、広告物、図書などの撤去活動） |

問33

問33 上記の事業などにより、本市において子どもの教育環境が整備されていると感じますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 整備されている | 2. どちらかといえば整備されている |
| 3. どちらかといえば整備されていない | 4. 整備されていない |
| 5. わからない | |

問33

問33-1

問33-1 問33のように思われる理由として、あてはまるものを3つまでお答えください。

- | | |
|--|--|
| 1. 教育環境づくりに関する情報提供が十分されているから／不足しているから | 2. 学校等の耐震化が進んでいるから／進んでいないから |
| 3. 児童に応じた指導が行き届いているから／いないから | 4. 教育相談室やスクールカウンセラーの相談体制が整っているから／いないから |
| 5. 生活体験・自然体験・職場体験活動等が充実しているから／不足しているから | 6. 学童保育施設や職員体制が充実しているから／不足しているから |
| 7. 他市町村と比較して | |
| 8. その他 () | |

問33-1

13. すべての方に、「子育てにやさしく安全な生活環境づくり、子どもに安全なまちの環境づくり」についてお伺いします。

回答欄

本市では「子育てにやさしく安全な生活環境づくり、子どもに安全なまちの環境づくり」を推進するために下記のような事業を実施しています。参考にして以下の質問にお答えください。

①住宅建築、改修に関する融資制度等の実施
②ひとり親世帯や多子世帯への公営住宅入居の配慮
③防犯灯の整備
④自治会等への除雪機械購入の支援
⑤歩道などのバリアフリー化
⑥公共施設への授乳コーナー、子ども用便器、ベビーシートなどの整備
⑦公園遊具の定期点検と計画的な改修
⑧市民ボランティアによる環境美化活動の推進と支援
⑨かもしかクラブ、ミニかもしかクラブ(幼児に対する交通安全教室)
⑩交通指導員、交通安全専門指導員の活動(児童・生徒に対する交通安全教育)
⑪「子ども110番の家」などの防犯ボランティア活動の周知と支援
⑫子どもたちの登下校時の見守り隊の活動支援
⑬安全安心メール配信サービスの実施(携帯電話による不審者情報発信)

問34 上記の事業などにより、本市において子育て世帯にやさしい環境づくり(道路、公園、トイレ、駐車場など)を進めていると評価しますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

問34

1. 評価する	2. どちらかといえば評価する	問34
3. どちらかといえば評価しない	4. 評価しない	
5. わからない		

問34-1 問34のように思われる理由として、あてはまるものを3つまでお答えください。

問34-1

1. 子育てに関する情報提供が十分されているから/不足しているから	2. 公共施設への子ども用便器等の設置が進んでいるから/いないから	問34-1
3. 子育て世帯への住宅に関する支援(融資、公営住宅入居の配慮)が十分されているから/いないから	4. 公園施設(遊具、休憩施設等)の点検、改修が行き届いているから/いないから	
5. 歩道のバリアフリー化が進んでいるから/進んでいないから	6. 他市町村と比較して	
7. その他 ()		

問35 地域における交通安全活動や防犯活動が活発であると感じますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

問35

1. 活発である	2. どちらかといえば活発	問35
3. どちらかといえば活発でない	4. 活発でない	
5. わからない		

問35-1 問35のように思われる理由として、あてはまるものを3つまでお答えください。

問35-1

1. 交通安全の活動が目に見えて行なわれているから/いないから	2. 見守り隊の活動が目に見えて行なわれているから/いないから	問35-1
3. 活動内容の周知が十分に行なわれているから/不足しているから	4. 街灯が十分整備されているから/いないから	
5. どの地域でも活動が活発に行なわれているから/地域によってかなり差があるから	6. 子どもや歩行者への交通マナーがドライバーに浸透しているから/不十分だから	
7. 他市町村と比較して		
8. その他 ()		

14. すべての方に「児童虐待やひとり親家庭、障がい児など特別な支援を必要とする子どもや家庭を支える環境づくり」についてお尋ねします。

本市では「特別な支援を必要とする子どもや家庭を支える環境づくり」を推進するために下記のような事業を実施しています。参考にして以下の質問にお答えください。

①要保護児童対策地域協議会事業（児童虐待防止対策）
②短期入所生活援助事業（児童養護施設等での児童の一時的預かり）
③養育支援訪問事業（養育支援を必要とする家庭への保育士、看護師等の訪問支援）
④CAP(子どもへの暴力防止)プログラムを活用した学校等での研修会の開催
⑤母子自立支援員による相談
⑥児童扶養手当の給付(平成22年8月から父子家庭も対象)
⑦ひとり親家庭等医療費助成(平成21年度から父子家庭も対象)
⑧育ちのサポート事業（保育園、幼稚園への臨床心理士等の訪問による発達障がい児支援）
⑨はまなし学園の発達支援及び子育て支援機能の充実（入所児及び親子通園による療育支援、日中の一時的預かり）
⑩身体障がい児等への補装具、日常生活用具の給付支援
⑪特別児童扶養手当、重度心身障がい児扶助費の給付
⑫特別支援学級、特別支援学校（県）の設置
⑬障害者総合支援法に基づく放課後等デイサービス（学校の放課後等に利用できるデイサービス）

問36

問36 上記の事業などにより、本市において児童虐待やひとり親家庭、障がい児など特別な支援を必要とする子どもに対しての支援体制が整っていると感じますか。

1. 整っている	2. どちらかといえば整っている	問36
3. どちらかといえば整っていない	4. 整っていない	
5. わからない		

問36-1

問36-1 問36のように感じるのはなぜですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 支援内容が充実しているから/いないから	2. 相談できる場所が充実しているから/いないから	問36-1
3. 個々の家庭の状況把握・サポートが行き届いているから/いないから	4. 他市と比較して支援等が充実しているから/いないから	
5. 支援を利用できる条件が適当だから/厳しすぎるから	6. 療育機関、ことばの教育を行う機関が充実しているから/いないから	
7. 発達に関して気軽に相談できる医療機関が充実しているから/いないから		
8. わからない		

問37

15. すべての方に「子どもの虐待」についてお伺いします。

問37 自分（またはパートナーや家族）が子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。あてはまる番号を選んでください。

1. よくある	2. ときどきある	問37
3. あまりない	4. 全くない	

問37-1

問37-1 問37で「1」「2」「3」を選んだ方にお伺いします。そのように思うのは、どんな場合ですか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. たたくなど手を出してしまう	2. 過剰なしつけ	問37-1
3. 食事を食べさせない等制限や放置	4. 感情的な言葉	
5. その他（ ）		

問37-2

問37-2 問37で「1」「2」「3」を選んだ方にお伺いします。問37-1のようなことをしてしまうのは、なぜだと思いますか。あてはまる番号をすべて選んでください。

1. 子育ての方法がわからないから	2. 子どもが言うことをきかないから	問37-2
3. 仕事や家事に追われて、ストレスでつい	4. 家族のしつけの方針だから	
カッとなってしまうから		
5. 経済的に十分な食事を提供するのが困難		
6. その他（ ）		

問37-3 すべての方にお伺いします。身近で児童虐待と思われるようなことに会ったことがありますか。あてはまる番号をご記入ください。

1. はい	2. いいえ	問37-3
-------	--------	-------

回答欄

問37-3

問37-4 問37-3で「1.」を選んだ方にお伺いします。そのときに公的な機関に通報しましたか。あてはまる番号をご記入ください。

1. はい	2. いいえ	問37-4
-------	--------	-------

問37-4

※ 児童虐待と思われることに会ったときの通報先や、ご自身が虐待をしていないか不安なときの相談先は以下のとおりです。子どもの心配事や不安についても、ご相談ください。

【児童虐待の通報・相談、子どもの心配事や不安】

名称	場所	時間
酒田市子育て支援課	市役所本庁舎1階 TEL 0234-26-5734	月曜～金曜日 8:30～17:15
酒田市家庭児童相談室	市役所本庁舎1階 TEL 0234-24-0981	(夜間休日 TEL 0234-22-5111)
庄内児童相談所	鶴岡市道形町49-6 TEL 0235-22-0790	月曜～金曜日 8:30～17:15

問37-5 すべての方に、児童虐待の通報、相談先についてお伺いします。上記の通報先・連絡先を以前からご存知でしたか。あてはまる番号をお答えください。

1. 以前から知っていた	2. 問37-5の設問を見て知った	問37-5
--------------	-------------------	-------

問37-5

16. すべての方に「子どもの発達支援」についてお伺いします。

※ 子どもの発達についての相談先は以下のとおりです。心配事や不安についても、ご相談ください。

【子どもの発達についての心配事や不安の相談先】

名称	場所	時間
酒田市福祉課発達支援室	市役所本庁舎1階 TEL 0234-26-6258	月曜～金曜日 8:30～17:15 (夜間休日 TEL 0234-22-5111)
酒田市健康課	酒田市船場町2-1-30 TEL 0234-24-5733	月曜～金曜日 8:30～17:15
はまなし学園	酒田市住吉町10-24 TEL 0234-33-3283	月曜～金曜日 9:00～15:30

問38 すべての方に、子どもの発達に関する相談先についてお伺いします。上記の相談先を以前からご存知でしたか。あてはまる番号をお答えください。

1. 以前から知っていた	2. 問38の設問を見て知った	問38
--------------	-----------------	-----

問38

17. すべての方に、子育ての環境についてお伺いします。

問39 家の近く（歩いて行ける範囲）の子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。あてはまる番号を3つ選んでください。

<p>1. 同じ年頃の子どもを見かけない</p> <p>3. 閑散としていて寂しい気がする</p> <p>5. 遊具の種類が充実していない</p> <p>7. 近くに遊び場がない</p> <p>9. 緑などの自然が少ない</p> <p>11. その他 ()</p> <p>12. 特に感じることはない</p>	<p>2. 狭くて思い切り遊べない</p> <p>4. 不衛生である</p> <p>6. 遊具等の設備が古くて危険を感じる</p> <p>8. 雨（雪）の日に遊べる場が少ない</p> <p>10. 周辺の道路が危険である</p>	問39
---	--	-----

問39

問40 子どもとの外出の際、困ることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

問40

1. 歩道や信号が無い通りが多く、安全性に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5. 授乳する場所や必要な設備がない
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がない
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとうるおいがない
9. 暗い通りや見通しの悪い場所が多く、防犯上の不安を感じる
10. 周囲の人に子ども連れだと迷惑そうに見られる
11. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに、手を貸してくれる人が少ない
12. その他 ()
13. 特に困ることはない

問41 子育て環境の充実のためには、どのような支援策が望ましいとお考えになりますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

問41

1. 親子で楽しめるイベントの機会がほしい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を身近にもっと増やしてほしい
3. 冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所をもっと増やしてほしい
(親子ふれあいサロン(交流ひろば内)や子育て支援センターなどの施設)
4. 子育てに困ったときに相談したり情報を得たりできる場や仕組みがほしい
5. 保育所で多様なニーズ(延長保育、一時保育など)に対応してほしい
6. 誰でも気軽に利用できる、つどいの広場(にこっと広場)をもっと増やしてほしい
7. 病児・病後児保育について充実させてほしい
8. 急な用事のあるときに、日中、短時間(4時間程度)だけ託児をしてもらえる施設がほしい
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
10. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進のため、残業時間の短縮や休暇の取得促進など職場環境の改善を企業に働きかけてほしい
11. 公営住宅における多子世帯の優先入居など住宅面の配慮がほしい
12. 育児講演会など、子育てについて学べる機会をもっとつくてほしい
13. 施設毎に保育・教育方針に特色を持たせてほしい
14. 放課後の空き教室を活用した、下校時間までの学習を推進してほしい
15. その他 ()
16. 特にない

18. すべての方に、生活の優先度についてお伺いします。

問42 あなたの生活の中で、希望する優先度と、現実の優先度について、それぞれ最も優先するものを1つ選んでください。

問42

ア 希望

ア 希望	1. 仕事 2. 家事 3. 育児 4. プライベート(趣味・娯楽など) 5. その他 ()	ア 希望
------	--	------

イ 現実

イ 現実	1. 仕事 2. 家事 3. 育児 4. プライベート(趣味・娯楽など) 5. その他 ()	イ 現実
------	--	------

19. すべての方に、少子化対策、人口減少抑制対策の参考とさせていただきたいので、以下の項目についてお伺いします。

回答欄

(おことわり)

平成22年に実施した国勢調査の結果によると、酒田市の人口は111,151人で前回(平成17年)に比べ6,426人減少しています。65歳以上の方が31,835人と前回に比べ1,344人増加した一方、14歳以下は14,123人と1,935人減少しており、人口減少と少子高齢化が進んでいることが明らかとなっています。

また、将来の人口について国の機関が本年3月に発表した推計値では、平成32年には97,751人と10万人を割り込み、平成52年には71,170人まで減少するとされています。さらに、平成52年には、65歳以上の割合が42.5%に、14歳以下の割合が9.4%になると推計されています。

(参考) ●女性の平均初婚年齢(酒田市)

昭和57年/25.3歳、平成9年/26.5歳、平成23年/28.6歳 (出典:保健福祉統計年報)

●30~34歳の未婚率(酒田市)

男性:平成2年/31.20%、平成12年/39.76%、平成22年/45.70%

女性:平成2年/9.58%、平成12年/20.31%、平成22年/29.70% (出典:国勢調査結果報告書)

酒田市では、この結果及び推計値を重く受け止め、人口減少、少子化を緩和、抑制し、未来に希望の持てる酒田市となるよう取り組んでいくこととしております。

このたび、子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査にあわせて、みなさんの結婚、出産等に関する実態を調査させていただき、今後の施策、政策に反映したいと考えております。質問項目には、失礼、ぶしつけに思われるものもあろうかと思いますが、回答者が特定されることは一切ありませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

問43~50は、お子さんの母親についてお答えください。

問43 最終学歴を教えてください。

問43

1. 中学校	2. 高等学校	3. 短期大学
4. 専門学校	5. 大学	6. 大学院
7. その他		

問43

問44 結婚したときの年齢を教えてください。

問44

1. 20歳未満	2. 20~24歳	3. 25~29歳
4. 30~34歳	5. 35~39歳	6. 40歳以上
7. 結婚していない		

問44

問45 結婚した年齢をどのように感じますか。

問45

1. 早いと思う	2. ちょうど良いと思う	3. 遅いと思う
----------	--------------	----------

問45

問46 (この質問は、問45で「3. 遅いと思う」を選んだ方のみお答えください。)

結婚が遅くなった理由について、あてはまるものを2つまで選んでください。

問46

1. 結婚するには早すぎると思ったから	2. 必要性を感じなかったから
3. 仕事(学業)に打ち込みたかったから	4. 趣味などを楽しみたかったから
5. 自由や気楽さを失いたくなかったから	6. 結婚したい相手にめぐり合わなかったから
7. 異性とうまくつきあえなかったから	8. 異性に会える場がなかったから
9. 結婚資金が足りなかったから	10. 収入が少なかったから
11. 住居のめどがたたなかったから	12. 親や周囲が同意しなかったから
13. 特に理由はない(なんとなく)	

問46

回答欄

問47

問47 あなたは、お子さんを何人産みましたか。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人 | 6. 6人以上 |

問47

問48

問48 あなたが初めてお子さんを産んだのは、何歳ですか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40歳以上 |
| 7. 回答したくない | | |

問48

問49

問49 あなたのお子さんの人数は、理想と考える子どもの数に比べてどう思いますか。

- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. 少ない | 2. ちょうど良い | 3. 多い |
|--------|-----------|-------|

問49

問50

問50 (前問で1を選んだ方のみお答えください。)

「少ない」理由について、あてはまるものを3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. まだ若いから | 2. 結婚してまだ間もないから |
| 3. 子どもができにくい(できない)から | 4. 結婚した年齢が高かったから |
| 5. 初産年齢が高かったから | 6. 分娩に耐えられないから |
| 7. 出産にお金がかかるから | 8. 育児や教育にお金がかかるから |
| 9. 育児が精神的・肉体的に大変だから | 10. 育児より仕事を優先したいから |
| 11. 育児より趣味などを楽しみたいから | 12. 配偶者や周囲の理解が得られないから |
| 13. 家庭内で育児の協力が得られないから | 14. 子どもの将来が不安だから |
| 15. 育児休業など職場の子育て環境が整っていないから | |
| 16. 休日保育や夜間保育など子どもを預ける環境が不足しているから | |
| 17. その他 () | |

問50

20. すべての方に「現在及び将来の住宅環境」についてご意見をお伺いします。

問51

問51 現在のお住まいについて、あてはまる番号を1つご記入ください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 自分または配偶者の持家(共有も含) | 2. 自分または配偶者の父母の持家 |
| 3. 所有アパート・マンション | 4. 借家(戸建) |
| 5. 借家(アパート・マンション) | 6. 借家(公営住宅) |
| 7. その他 () | |

問51

問52

問52 現在のお住まいで困っていることについて、あてはまる番号を2つまでご記入ください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 部屋数が少なく、子供の成長にともない手狭になりそうで心配がある |
| 2. 建物が古くなったので、地震などでの安全性に心配がある |
| 3. 家賃が高い |
| 4. 職場まで遠い |
| 5. その他 () |
| 6. 特に困ることはない |

問52

問53 お住まいについて、今後の希望があればあてはまる番号を2つまでご記入ください。

1. 今住んでいる家を建て替えたい
2. 今住んでいる家に部屋を増やしたい
3. 今住んでいる家をリフォームしたい
4. 今住んでいるところから市内の別の場所に引っ越したい
5. 今住んでいるところから市外に引っ越したい
6. その他 ()
7. このままでよい

回答欄

問53

問54 もしも、中古住宅（リフォーム・リノベーション）に住むとすれば何を優先しますか？あてはまる番号を3つまでご記入ください。

1. 価格（500万以下）	2. 価格（500万～700万）
3. 価格（700万～1000万）	4. 部屋数が多い
5. 敷地が広い	6. 職場や学校までの距離
7. 使いやすさ	8. 建築年が新しい
9. 隣家も含む周辺環境	10. その他 ()

問54

問55 子育て世代への住宅支援として、ご希望があればご記入ください。

※市が行うこと、民間で対応可能なこと、施策に限らず、広くいろいろなお意見をご記入ください。

問55

自由記載欄にご記入された方は口内に **レ**

21. すべての方に、市の子育て支援施策についてご意見をお伺いします。

問56 市の子育て支援施策に対するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

問56

自由記載欄にご記入された方は口内に **レ**

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。